

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター情報保守事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 673 千円 (前年度予算額： 824 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	824	0	0	0	0	0	0	0	824
要求額	673	0	0	0	0	0	0	0	673
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

当センターの業務を遂行する上で、描画ソフトであるAdobe Illustratorが必須であるが、現在同ソフトの永久ライセンス版は発売されておらず、サブスクリプション版のみとなっている。岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、業務に使用するソフトウェアは開発元のサポートが切れたものを使用してはならないことから、サブスクリプション契約によるライセンスの更新を行う。また、Adobe Illustratorを使用するために必須となる、所属調達パソコンが、老朽化の影響で令和 7 年 1 0 月 1 4 日のWindows10サポート終了に対応できないことから、所属調達パソコンの更新を行う。

(2) 事業内容

◎ソフトウェアの更新

センターの事業で使用するソフトウェアのライセンスを更新する。

◎所属調達パソコンの更新

センターの事業で使用する所属調達パソコンを更新する。

（３）県負担・補助率の考え方

県負担（岐阜県情報セキュリティ関係規定に基づく更新であるため）

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び賃借料	443	Adobe Illustrator CC等ソフト年間使用料
備品購入費	230	パソコン購入費
合計	673	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、開発元のサポートの切れたソフトウェアを使用してはならない旨が定められており、令和６年８月９日付け情シ第１４４号統括情報セキュリティ責任者（デジタル推進局副局長）通知では、マイクロソフト社「Windows10」のサポート期間の終了に伴う対応が求められた。

（２）後年度の財政負担

Adobe Illustratorは年契約でライセンスを獲得するものであり、毎年契約を更新していく必要がある。また、所属調達パソコンのWindows10サポート終了に対応するための更新（廃棄を含む）を進める。

（３）事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行って記録保存し、その成果や出土品の活用をとおして、県の教育普及・文化振興に寄与することを業務とする教育機関であり、県において他に類似する組織は存在しない。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

セキュリティ対策のため、センターの事業に使用するソフトウェアライセンスやパソコンを購入・更新し、安全に使用できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

センター事業に伴うセキュリティに要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	センターの事業に必要な期限切れのソフトウェアのライセンスを更新して、安全に利用することができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	センターの事業に必要な期限切れのソフトウェアのライセンスを更新して、安全に利用することができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	埋蔵文化財の調査や普及活用事業において必須のソフトウェアの更新であり、必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	年々増加しているインターネット上の脅威に対して、ソフトウェアを更新することで安全性を確保し、計画的に作業を行うことができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県のインターネットセキュリティに沿ったソフトウェアを適切に購入して使用することで効率化できた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 Adobe Illustratorのライセンスは年契約であり、毎年契約を更新していく必要がある。また、所属調達パソコンの更新に伴い永久ライセンス版のソフト（Adobe Photoshop等）も使用できなくなるため、今後サブスクリプション版を新たに契約して対応せざるを得ない。	
---	--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 情報セキュリティに対する脅威は年々増加しており、パソコンをインターネット環境で安全に使用することを求められているため、今後も継続して取り組んでいく必要がある。	
--	--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	